

令和7年7月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 **開催日時** 令和7年8月8日（金） ※津波警報のため延期分
午後1時00分から午後3時10分まで
- 2 **開催場所** 利府町役場 第1会議室
- 3 **出席委員** 村 松 淳 司 委員（教育長職務代行）
坂 下 咲希恵 委員
小 島 優 子 委員
- 4 **欠席委員** 高 田 修 委員
- 5 **説明のため出席した者** 教育部長 阿 部 昭 博
教育総務課長 小野寺 厚 人
生涯学習課長 古 澤 晃 一
総務学事係長 太 田 洋 美
総務学事係主査 安 住 真紀子
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **令和7年7月臨時会会議録の承認**
原案のとおり承認。
- 8 **本定例会会議録署名委員の指名**
坂下委員と小島委員を指名。
- 9 **一般事務事業報告及び事業計画**
（説明者：教育部長）
資料に基づき説明。原案のとおり承認。
- 10 **専決処分報告**
**報告第13号 利府町文化交流センター指定管理者評価懇話会委員の委
嘱について**
（説明者：生涯学習課長）
資料に基づき説明。原案のとおり承認。

1 1 議案

議案第 1 3 号 令和 8 年度使用教科用図書の採択について

教育長職務代行委員

議案第 1 3 号 令和 8 年度使用教科用図書の採択については、非開示情報が含まれるので秘密会とする。

議案第 1 4 号 利府町教育委員会事務事業点検・評価報告書について

(説明者：教育総務課長)

資料に沿って説明。

(審議)

村松委員

基本方向 1 の豊かな人間性や社会性の涵養の中の防災教育に、「実態を踏まえた防災教育の推進を今後もお願ひしたい」とあるが、「災害時の更なる対応力の向上に期待する」のところの点が B だった。これはどういう意味か。

教育総務課長

「実態を踏まえた防災教育の推進」というのは否定的な意味ではなく、今後に向けて、転入者の増加、利府町内でも大規模開発がまたさらに今から進んでいく中で、それに応じた推進を今後も続けていって欲しいという趣旨であった。

村松委員

この書きぶりだけ「期待する」と、他の書きぶり違って、何か変えたほうがいいのかもしいないなという雰囲気を持っているため気になった。

教育総務課長

意見については、提出されたものなので書き直すわけにはいかないが、否定的な意味での言葉ではなく、今後も期待するというような趣旨だったと思う。

原案のとおり承認。

1 2 報告事項

(1) 「令和 8 年度 利府町二十歳を祝う会」について

(説明者：生涯学習課長)

資料に沿って説明。

村松委員

式典参加率が増えているが、席は大丈夫か。

生涯学習課長

充分足りる。式典自体をリフノスで開催したいが、座席数が足りない。家族の参加は一人に限定している状況である。

(2) 利府町の自然風土スポット普及啓発事業について

(説明者：生涯学習課長)

村松委員

菅谷の横穴墓群について、実施するときは私にもぜひ声をかけていただきたい。

生涯学習課長

承知した。

(3) 文化交流センター「リフノス」の実績報告（令和7年度第1四半期）について

(説明者：生涯学習課長)

資料に沿って説明。

(4) 利府町文化交流センター指定管理者のモニタリング評価（令和5年度）について

(説明者：生涯学習課長)

資料に沿って説明。

小島委員

モニタリングをする時、目標値が達成されたら、その時に目標値を見直ししないものなのか。何%で評価ですって言われても、達成された段階で高くして行って、例えばそれよりももっと多くなっていたら、人数が増えすぎて、超えているとか、そういうのがわからないままではないか。指標2番目の利用団体も600となっているが、7年度の目標が151のままであれば、S評価でいいのかわからない。ただ、認知度は非常に上がっていると評価できる。

(5) 令和7年度キャリアシップ（職場体験学習）実施について

(説明者：教育総務課長)

資料に沿って説明。

(6) 利府町休日部活動地域移行推進計画素案について

(説明者：教育総務課長)

資料に沿って説明。

教育総務課長

教育委員会で、どこまで移行計画を策定するのかというか、この内容については、基本計画というよりも基本方針ではないかという意見もある。実証事業は、スポーツの方を先行して進めることになる。スポーツの方は、どこかの段階でスポーツ振興課の方にお問い合わせの話はしている。そういった中で、仮称利府町スポーツ推進協会もワードとしては出てきているということで、運営主体・実施主体として、受け入れていただければいいかなというように考えている。

村松委員

文化部は休日にどのぐらい活動しているのか。

教育部長

文化部の休日の活動は、吹奏楽部がメインである。私もすべての学校を把握しているわけではないが、特に文化祭前とかでない限りは、あまりしないという感じがする。休日部活動は、スポーツの方に多いので、スポーツと吹奏楽を想定している。

村松委員

吹奏楽部のことを考えれば、文化系の方はある程度カバーできる。吹奏楽部は人数が多い。どこが受け皿になるか、具体的に考えるのは教育委員会である。スポーツの方は、スポーツ推進課に任せて良いと思う。現状でも、西中の先生がやっているのでも、今はボランティアだが、体系化していけばいいのかなと思う。指導者派遣型でやっていけるのかなと。

教育総務課長

吹奏楽部については、いずれは生涯学習課にお願いしてという形にはなるが、どうしていけばいいのかなというところもある。まずはスポーツの方を、国の方でもスポーツ庁がどちらかという旗振り役になっている。

村松委員

吹奏楽の先生も結構熱心にやっている。町の文化振興関係の人たちに協力してもらえないか。

教育総務課長

10月から実証事業を予定している。学校から希望のあった部活動で実施予定である。基本的に毎週土曜日、外部指導者をに入れてやってみようと6月補正で事業予算化した。入札の手続きをしている。

小島委員

次の発展として、吹奏楽部であったり、何か単発でやってみるというのもよいのではないか。

村松委員

実証事業は毎週やらないといけないのか。

教育総務課長

毎週やらなくても良いが、毎週土曜日の部活をやってもらう想定である。基本 10 月の土曜日から 2 月半ばの土曜日ぐらいまで、基本毎週行う予定である。

村松委員

スポーツには、トップになっていくという人と、単に楽しむ人がいるので、両方満足できれば良いと思う。中学校も組織率が低くなっており、学校単位でチームをつくれないうところもあると聞いている。

教育総務課長

利府町はまだ子どもがいるが、それにもかかわらず、そういう事態も生じている。他の地域の学校だと、団体競技だと市町村の枠を超えて合同チームというのを模索しているようである。

村松委員

中体連も高体連も地域の大会を開くのは難しくなってきた。中体連のサッカーとか、利府はまだ良いが、他の自治体は合同チームになっている。

(7) その他について

(説明者：教育総務課長)

①東北六縣市町村教育委員連合会教育委員・教育長研修会

7 月 11 日にいわき市で開催した東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員教育長研修会の資料である。3.11 から 15 年目の課題と未来の展望ということで、東京大学大学院情報学科准教授の開沼先生の方から講演をいただいた。いわき出身ということでそういった見地から話があった。次に、元大熊町教育委員会教育長さんから話があり、東日本大震災、原発事故で全町避難を強いられた大熊町学校教育再生への挑戦ということで、涙ながらの講演であった。あの状況で学校を違うところに移転してやらなければならないということを考えられたみなさんがいたんだなど、私自身、再認識した講演であった。

②国内語学研修事業（ブリテッシュ・ヒルズ）について

今年度から始めた事業で、7 月 26 日土曜日から 28 日の月曜日まで、福島県天栄村にあるブリティッシュヒルズに、町内に居住する中学校 1 年生から 3 年生までの 13 人に参加していただいた。内容については英検 4 級・3 級程度のレッスン内容で、テーブルマナー講座やサバイバルイングリッシュ、ブリティッシュフェスティバル、サイエンスチャレンジ等、複数のレッスンの項目があり、教育委員会の方で選択し、実施した。その前

段として、7月5日に事前研修を実施した。アンケート結果がまだ取りま
とまっていないが、非常に良かったというふうに認識をしている。20名
募集のうち申込が14人、内1人が体調不良ということでキャンセルのた
め13人が参加した。

③万博国際交流プログラムガーナ共和国交流事業について

昨年度から引き続き行っている万博国際交流プログラムガーナ共和国の
交流事業について、今年度は7月28日から30日まで、主として町長部局
の国際交流担当の方で受け入れた。教育委員会でも村松先生に密接に協力
していただいた。28日午後、利府町役場に到着、交流館の方で歓迎セレ
モニーを実施。その後、ガーナの方々は馬の背等を観光し、ルートイン利
府にチェックイン、夜はリフノスの図書館を視察し、歓迎レセプションを
文化交流センターで実施した。村松先生をはじめ、教育委員会でも参加し
た。29日火曜日午前中は、グランディ21のサッカースタジアム見学。こ
ちらは教育長職務代行という立場ではなく、ボランティアとして村松先生
に案内をしていただいた。その後は、教育委員会主催プログラムというこ
とで利府高校の視察、利府高校と、ガーナ共和国の高校生の交流、その中
で第一部として、2月に利府町の中学生とガーナの高校生がオンライン交
流した時の映像を最初に見ていただいて実施した。2月に参加した中学生
だけであるが、新たに交流する機会があるので参加して欲しいと文書は出
したが、残念ながら参加者はゼロであった。前回は2月で中学校2年生の
参加が多かったので、どうしても今年受験勉強のため参加できなかったと
いう声の一部届いている。その後は、イオンでショッピング、夜は、国際
交流協会主催の歓迎晩餐会ということで、村松代行に出席していただいて、
教育委員会からガーナに2月に視察に行った補佐も参加している。最終日
30日は、午前中に利府町・日本の最新の教育を見ていただくため、利府
小学校で電子黒板、タブレット、水洗トイレ、エアコン完備、そういった
ところを見学していただきお帰りいただいた。資料に写真を掲載したので、
ご覧ください。

④イングリッシュキャンプについて

今週小学生対象にデイキャンプ形式で行った事業である。昨年度から引
き続いて2年目、森郷キャンプ場に協力いただき、日本バプテストキリス
ト教会に委託事業として実施した事業である。テレビのニュースでも5日
夕方に流れたが、少し前に話題になった「イングリッシュキャンプの返金
問題」の観点の切り口から、取材に来たようだったので、純粹に利府町の
取り組みが良いというような報道の仕方ではなかった印象だったが、取り

上げていただいていたよかったですと思っている。参加人数は、実際は定員が 30 人までだったが、32 人の申込があり、1 人キャンセルで 31 人になり、31 人のうち 1 人も体調不良で、最終的に 30 人になったので希望者の参加は断っていない。定員を超えた場合は抽選で実施予定だったが、若干であれば受入れ可能との事であったため、抽選には至らなかった。ただし、天候が雨だったため、プログラムを少し変更して実施した。

(8) 各小・中学校の状況について

教育長職務代行委員

(8) 各小中学校の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

1 3 事務局からの連絡事項

(1) サイエンスディ 2025 について

教育総務課長

利府町役場の中でも、理数系の方に向けた事業もできないかなということで、7 月 20 日東北大学を会場に行われた仙台宮城サイエンスディ 2025 へ視察に行ってきた。

(2) 仙台管内教育委員会協議会事業実施（研修会）に係る意見徴収について

総務学事係長

令和 7 年度事務局の大衡村から研修会のあり方についてということで現在、年 2 回実施している研修会について、総会実施時に一本化を図ることについて意見聴取依頼があった。

坂下委員

年 1 回の開催に同意する。

(3) 令和 7 年 8 月定例会の開催について

次回開催予定日は、令和 7 年 8 月 29 日金曜日午後 1 時からである。

1 4 閉会